

megura

2016.9月号... vol.100



meguraが
100
がとう

100はゴールではありません...

2008.4 創刊号

こんにちは～(笑) megura編集長いも。今月号のmeguraが100号の節目を迎えることができています。創刊8年。一度も休刊することなく毎月発行できたのも、お手に取り愛読下さる大切な皆様のおかげです。心より深く感謝申し上げます(涙)

8年前、「毎月、大切なお客様にお手紙出したいよね。何か作ってあげたい?」という社長のつぶやきに始まりました。スーパーレジ係だった私(いも)が慣れない工務店の社員となり、直接的にお客様への接客やつながりを感じることができ、ちやみくみ... (笑) 私に何かできることはないかな...と悩んでいた矢先のこと。そう言えば、かつて中学生の頃は広報委員だったなあ～なんて、なつかしく思いながら、本当に手づくりの創刊号作成... 突然の(笑)発行となりました。手づくりで計画性のない構成で今、振り返ると、読みにくさ100%。本当に顔真っ赤になります(泣)

それでも今も「最初から全部取っ替える!」と応援つづけて下さるお客様... 「めが床の話、良かったですよ」「パリンピクの話、感動しました」などなど... お客様との接点、つながりを確かに感じることができ、(恵)社員である幸せと生き甲斐に気がせ下された大切なお客様... 本当にありがとうございます。そして100号を迎えても、まだまだ続く、発展途上のmeguraを、毎月お手に取って下さり、本当にありがとうございます(笑) 8年前のスタート時は、10号続いたら万歳と聞いてました... 夢、ええな100号です(涙) 「100」はひとつの目標ではありますが、決してゴールではありません。meguraは(恵)の一部であり、(恵)が目指す「皆様の快適な暮らしのホームセンター」の使命(ゴール)は果てなく、永遠。(恵)と共にmeguraを未来に愛顧頂ければ幸いです(涙)



「雑然～整然」
変わらぬ活気を祈る

ご縁あって、築地市場豊洲移転に携わっています。いろいろな話題の豊洲は、徐々に店舗の移転が進んでいます。

築地の場内市場は、どこを見ても「雑然」とした風景と活気。



←現在の築地
雑然とは中にも長い歴史を感じ、風情が何となく言葉に表れずあります(泣)

時代の流れで「整然」とした箱の中に納まることになります。



←移転先の豊洲
現代的なアスファルトのようですね。ここに皆さんが移転され、新しい歴史が開かれ... どんな雰囲気になるのか楽しみです

風景は大きく変わっても、活気だけは変わらないことを祈ります。

この箱を「帳箱」といいます。



『帳箱』を造ります。
市場店舗に必ずある
お客さんが会計をする
帳場です。

これまた各店で大きさも仕上げもバラバラです。(笑)

整然とした建物の中に入っても帳箱は個性豊か

ご繁栄を願い、心をこめて造らせていただきます。



花行元 megura編集部
編集長 いも。
虎建設(株)
新堀新館1-10-4
Tel. 03-3350-6689
Fax 03-3350-8106

